

文学部

- 人間学科
- 比較文化学科

文学部は、学部創設以来、全人教育の理念のもと、地球市民として社会に貢献できる広い視野と柔軟な対応力を備えた人材育成を目指している。そのため、豊かな表現力、論理的思考力、コミュニケーション能力という社会人としての基礎力を養成するための学科構成およびカリキュラム編成を行っている。

人間学科は、現代社会が求める多彩な能力や広い視野を育成するために、「思想」、「心理」、「社会」、「倫理」、「教育」という5分野横断型のカリキュラムを用意している。導入期における「人間学基礎ゼミ」を中心に人間について幅広く学ぶ段階から人間学演習（ゼミナール）を柱にした専門を極める段階へと発展的に学修を進め、人間を多面的に理解することができ、多様な社会でリーダーシップを発揮することのできる人材を養成する。

比較文化学科は、「文化」を多様な観点から研究し、広い視野にたち、異文化と自文化を関係付け、豊かな言語力と表現力を駆使して現代社会で柔軟に生きていくことのできる人材育成を目指している。そのために、「多文化コミュニケーション」「国際交流」「ヒューマン・サービス」「地域研究」「言語文化教育」という5領域を総合的に学修するシステムを用意している。文化を広く学ぶ導入の段階から比較文化セミナーを中心に文化を深く学ぶ段階へと発展させ、知識と行動力をもって多文化社会に貢献できる人材養成を行う。